

イラン

主要データ

国名〔英名〕	イラン・イスラム共和国〔Islamic Republic of Iran〕
面積(km ²)	1,648,195
海岸線延長(km)	2,440
人口(百万人)	80.8
人口密度(人/km ²)	49.0
GDP(百万US\$)	36,626
一人当りGDP(US\$)	4,750.65
主要鉱産物：鉱石	銅、鉛、亜鉛、ボーキサイト、クロム、マンガン、モリブデン
主要鉱産物：地金	銅、鉛、亜鉛、アルミニウム
鉱業管轄官庁	産業鉱山貿易省(Ministry of Industry, Mine and Trade)
鉱業関連政府機関	イラン鉱業協会 (Iranian Mining Engineering Organization, IME)、イラン地質調査所 (Geological Survey of Iran)、イラン商工鉱業農業会議所 (Iran Chamber of Commerce, Industries, Mines & Agriculture, ICCIMA)
鉱業法	Mining code of the I.R. Iran(1998)
ロイヤルティ	-
外資法	Regulations on Entry and Residence of Foreign Nationals in the Free Trade-Industrial Zones
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	-
国営鉱業企業・鉱業公社	イラン鉱山鉱業開発機構 (Iranian Mines and Mining Industries Development and Renovation Organization, IMIDRO)、国営銅公社 (National Iranian Copper Industries Company, NICICO)、国営鉄鋼公社 (National Iranian Steel Company, NISCO) 等
鉱業活動中の民間企業	Iran Zinc Mines Development Company、Bagh Darreh Mining Cooperative Co 等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	特になし
2013年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年8月に保守穏健派のローハニ師が大統領に就任以降、核問題が進展。2013年11月に主要6ヶ国との間でジュネーブ合同行動計画に合意、2014年11月24日まで協議延長。 ・2014年1月、EUが経済制裁措置を一部解除。

1. 鉱業一般概況

イランは北アフリカ中東地域において、サウジアラビアに次いで第2位の経済大国であり、人口もエジプトに次いで第2位の規模にあるが、核開発問題により国際社会から制裁措置を受けており、2013年の実質GDP成長率は-1.7%と、2012年の-5.6%に続き2年連続のマイナス成長となった。鉱業に関しては、イランは中東地域では群を抜く鉱産国であり、イラン鉱山鉱業開発機構(IMIDRO)によれば、鉄鉱石、石炭、金、鉛、亜鉛、銅をはじめ68種もの鉱物が賦存しているとして、その価値は7,000億US\$に上るとしている。また、鉄鉱石に関しては、世界で9位の生産国であり、鉄鉱石埋蔵量は27億t

で世界埋蔵量の0.8%を占める。銅の埋蔵量は26億tで世界の4%、亜鉛埋蔵量は1,100万tで世界の4%を占め、加えて、金についても250tの埋蔵量があるとしている。2013年の鉱業セクターによる輸出額はおよそ80億US\$で、鉱業セクターにおける雇用は62万人にも上るといふ。

イランでは、すべての鉱物資源は国家に帰属しており、探鉱及び採掘活動を行うためにはMinistry of Industry, Mine and Trade（産業鉱山貿易省）が発行するライセンスを取得する必要がある。MIMは、鉱業、製錬業、精錬業（石油を除く）を所管し、地質データの管理はGeological Survey of Iran（イラン地質調査所）が所掌している。国内には5,000を越える鉱山が操業しているが、そのほとんどは民営の中小鉱山である。大規模鉱山は国営企業であるIMIDROにより運営されている。

2. 鉱業政策の主な動き

イランは核開発問題により米国を始め国際社会から制裁措置を受けていたが、2013年6月の大統領選挙で当選した保守穏健派のローハニ師が8月に大統領に就任して以降、核開発問題の解決に意欲を見せ、核交渉が大きく進展した。2013年11月24日には国連安全保障理事会の常任理事国5カ国及びドイツの6か国との間で暫定合意に達し、ジュネーブ合同行動計画において、濃縮ウランの製造停止、ウラン濃縮可能な核施設への査察受け入れ等の見返りとして経済制裁の緩和を受けることとなった。ただし、その6か月後の2014年7月20日の期限内に包括合意には至らず、2014年11月24日まで協議は延長されている。

イランはこれまでの制裁下において、政治的に米国と距離を置く国々との関係強化に努めてきた。2011年7月には、ガソリンなどの石油製品をアフガニスタンに供給することでアフガニスタンと合意し、両国間の道路や橋などの建設や電力供給をイランが行う計画もあると報じられた。また、ロシアとの関係では、イラン・ロシア貿易協力委員会が2014年9月9日にテヘランで開催され、ロシアからアレクサンドル・ノワク・エネルギー相、イランからはバイジャン・ザンギャネ石油相らが参加し、農業、輸送、鉱山、エネルギー、技術移転の分野において関係強化に向けて協定に署名している。

また新興国との間においても、ブラジルとの間で2010年5月に鉱物資源分野に係る協力合意書に署名し、他分野についても長期的なパートナーシップを強固にしていくことで合意した。さらに中国有色金属建設株式有限公司がイランで電解アルミニウム製錬所の建設を行うことを2010年12月に発表している。

第5次国家開発計画（2011年～2015年）では、国力増強に向け、鉱物資源の生産拡張を目標に掲げている。IMIDROによれば、2025年までに生産能力を鉄鋼は5,500万t、銅地金80万t、アルミニウム150万t、亜鉛30万t、金5tまで増強するとしている。これらの達成には4,000億US\$の投資が必要とされている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2011年 (千t)	2012年 (千t)	2013年 (千t)	対前年増減比	世界シェア	ランク
銅	258.9	245.2	213.3	-13.0%	1.2%	15
鉛	29.0	40.0	41.6	4.0%	0.7%	15
亜鉛	138.0	138.0	142.8	3.5%	1.0%	15
ボーキサイト	818.2	900.0	900.0	0.0%	0.3%	14
クロム	330.0	447.8	427.5	-4.5%	1.5%	10
マンガン	135.0	135.0	135.0	0.0%	0.3%	15
モリブデン	3.9	3.0	3.0	0.1%	1.1%	9
鉄	35,500	37,500	38,000	1.3%	2.0%	9

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2014、Steel Statistical Yearbook 2014)

世界の鉱業の趨勢 2014
(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2011年 (千t)	2012年 (千t)	2013年 (千t)	対前年増減比	世界シェア	ランク
亜鉛	132.0	148.0	148.0	0.0%	1.1%	19
アルミニウム	321.9	336.5	331.9	-1.4%	0.7%	19
粗鋼	13,197	14,463	15,422	6.6%	0.9%	15

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2014、Steel Statistical Yearbook 2014)

(3) 主要金属消費量

表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2011年 (千t)	2012年 (千t)	2013年 (千t)	対前年増減比	世界シェア	ランク
銅	189.3	198.5	176.0	-11.3%	0.8%	20
鉄鋼	21,301	22,777	19,365	-15.0%	1.4%	11

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2014、Steel Statistical Yearbook 2014)

(4) 主要金属輸出量

データなし

(5) 主要金属輸入量

データなし

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(%)	鉱種	生産量 (千t)	備考
Sarcheshmeh Complex	NICICO	銅 モリブデン	670 8	生産能力
Sungun	NICICO	銅 モリブデン	150 3	生産能力
Miduk	NICICO	銅	150	生産能力
Angouran	Iran Zinc Mine Development Co	亜鉛	500	生産能力
Irankouh Complex	BAMA Co	亜鉛	190	生産能力
Koushk	Bafgh Mining Co	亜鉛	120	生産能力
Emarat	Ber-Oner Tehran Co	亜鉛	100	生産能力
Daregaz Placer and Kahnuj Titanium Dioxide plant	IMIDRO	チタン	-	
Faryab	Faryab Mining Co.	クロム	180	生産能力(推定)
Jajarm	Iran Alumina Co	ボーキサイト	500	生産能力
Choghart	NISCO	鉄鉱石	7,400	生産能力
Chadormalu	Chadormalu Mining and Industrial Co	鉄鉱石	6,500	生産能力
Gol-e-Gohar	Gol-e-Gohar Iron Ore Co	鉄鉱石	3,800	生産能力
Sangan	Sangan Iron Ore Co	鉄鉱石	2,000	生産能力
Jalal Abad	Iranian Minerals Production and Supply Co	鉄鉱石	1,700	生産能力
Esfahan	Isfahan Steel Co	石炭	900	生産能力
Saghand	Atomic Energy Organization of Iran	ウラン	50	生産能力(推定) 2013年Q2より生産開始

(出典：USGS Minerals Yearbook 2012、他)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬所名	権益所有企業(%)	鉱種・形態	生産量(千t)	備考
Sarcheshmeh Copper Smelter	NICICO(100)	銅	158	生産能力
Sarcheshmeh Copper Refinery			210	
Khatoonabad refinery	NICICO(100)	銅	-	
Bandar Abbas	Almahdi Hormozal Aluminum Co	アルミニウム	257	生産能力
Arak	IMIDRO(100)	アルミニウム	190	生産能力
Bafgh Zinc	Bafgh Zinc	亜鉛	30	生産能力
Qeshm Zinc Smelter	Qeshm Zinc Smelter	亜鉛	20	生産能力

(出典：USGS Minerals Yearbook 2012 等)

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト名	鉱種	企業名(権益%)	備考
Dar Alou	銅	NICICO(100)	FS 段階
Chah Firooz	銅	NICICO(100)	FS 段階
Haft Cheshmeh	銅	NICICO(100)	FS 段階
Iju	銅	NICICO(100)	FS 段階
Kahang	銅	NICICO(100)	FS 段階
Chah Mesi	銅	NICICO(100)	開発段階
Kale Kafi	銅		開発段階
Dalli	銅、金	Persian Gold plc(70), Dorsa(30)	開発段階
Taknar	銅、金	Union Resources Ltd(90), Ehya Sanaye Khorasan Co(10)	FS 段階
Sangan	鉄鉱石	NISCO(100)	FS 段階
Yazd North	鉄鉱石	NISCO(100)	FS 段階
Mehdiabad	亜鉛	Union Resources Ltd	FS 段階

(出典：各社 HP 等)

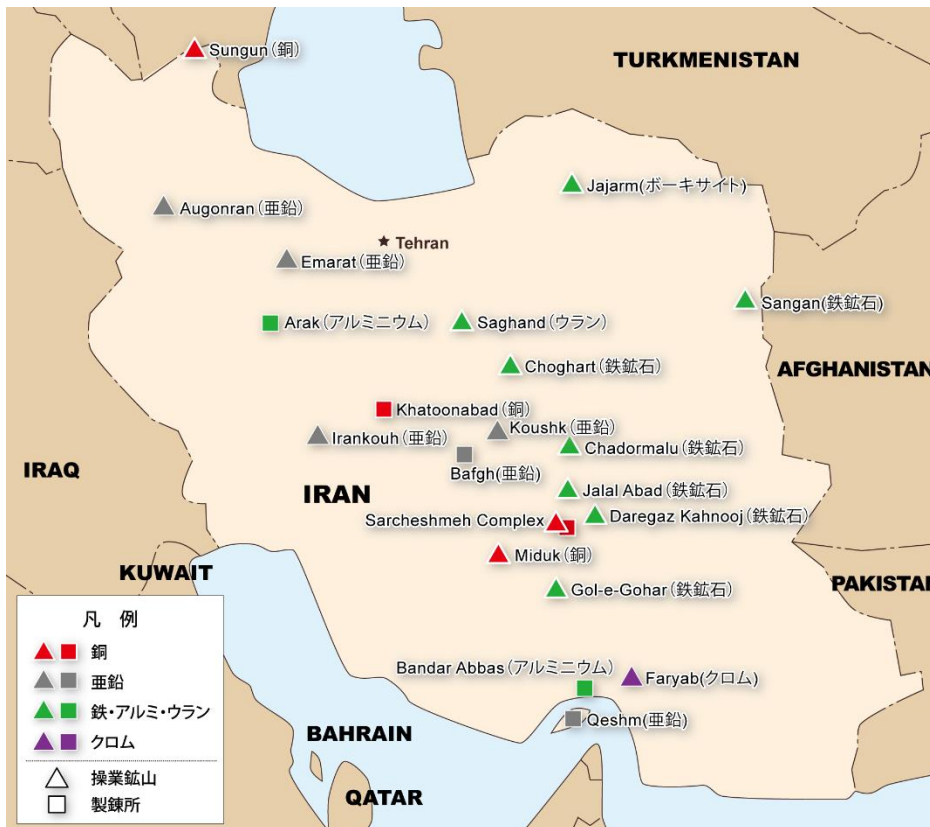


図 1. 主要鉱山、製錬所位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

特になし

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

- ・ 経済制裁が 2014 年 1 月 20 日から一部緩和されたことを受け、欧州各国企業を中心にイランでのビジネス再開に向けた動きが活発化している。
- ・ ローハニ大統領は 2014 年 6 月にトルコを訪問し、インフラ投資や貿易拡大を含む 10 件の協定をトルコとの間で締結した。

(2014. 10. 30 ロンドン事務所 竹下聡美)